

研究課題	取り組み目標	研究内容	達成状況	他校が参考にできるポイント
(例) 基礎学力の向上	生徒の英語検定3級合格者を、前年度よりも20%上昇させる	放課後の特別補習を継続的に実施	現在まで、週2回のペースで補習を実施。受講者の人数も増加した。	補習には、生徒の学習進度に合わせた教材を作成した。他校に提供できる教材である。
・電子黒板を活用した指導方法の開発と教材の共有について	① 指導方法開発するために電子黒板講習会・授業デモ・公開授業を実施。 ② 教材作成・開発・共有するために3校以上の先進校視察を実施。 ③ 総括として電子黒板授業実践報告書を作成し、今後推進するための一助とする。	① 授業研究を通して、電子黒板授業の利点や今後の可能性を探る。 ② 教材作成・開発・共有するために何が必要か、整理し課題とする。	① 電子黒板講習会の実施。教員の電子黒板利用普及に努めた。 ② 電子黒板授業デモンストラーションを実施した。 ③ 「大阪の教育力」向上プランに係る公開研究授業において採用2年目教員が電子黒板を用いた授業を実施し、教育センター指導主事の講評をいただいた。 ※今後、1月に公開授業及び総括として電子黒板授業実践報告書作成を計画している。	① 実践報告書を作成し、近隣校へ配付予定。電子黒板授業の利点や今後の課題を整理する。他校の先生が十分参考にできる形としたい。

イ) 現在の課題と、課題解決に向けた具体的な取り組み。

[課題] ①電子黒板を授業に活用しようとする教員の意識改革 ②予算措置

[取組] ①継続的な電子黒板授業の実施と講習会の開催 ②知恵を出し合う

※ GPに関するご質問等がありましたら
下記担当者まで連絡をお願いします

ロ) 今後実施予定がある公開授業や研究発表等、具体的なスケジュールについて。

・平成22年1月22日(金) 電子黒板授業公開授業日 5限、6限

・実践報告書の作成：100部作成し、府教委、府センター、近隣校へ配付予定

(問い合わせ先) 府立砂川高等学校
担当者：教諭 森下 信明
メール: n-morishita@sunagawa.osaka-c.ed.jp